



女子サッカー部報告

編集
大熊沙也佳・児玉 涼(2年生)毎日ブログ更新!最新情報はこちらで!!
<http://toin.sakura.ne.jp/>

KEEP EVOLVING to MAKE LEGEND

2014年12月27日 NO.73

2014-2015 シーズンチームスローガン: 伝説を作るために進化し続ける

~平成26年度大阪高校総合体育大会(女子の部)~

5年連続6回目全国大会出場

3位決定戦で京都精華に3-1で勝利

10月26日、11月2日、9日に第23回関西高等学校女子サッカー選手権大会兼第23回全日本高校女子サッカー選手権大会が滋賀県で行われた。大阪桐蔭は初戦、滋賀県の野洲川歴史公園サッカー場ビックレイクで神戸第一に5-0で勝利し全国の切符を手にした。準決勝は布引グリーンスタジアムで行われ今年4度目の大阪ダービーとなり大商学園と対戦した。チャンスを作るものの決めきれず逆に守備では体を張ったプレーで守り70分で決まらずPK戦となった。しかし、PKは4-5で敗れた。3位決定戦では今年のインターハイ準優勝の京都精華と対戦した。先制されたもののすぐに追いつき後半には2点を取りリードを広げて勝利、夏のインターハイ予選のリベンジを果たした。決勝戦は日ノ本学園が大商学園を2-0で破り優勝を飾った。全国大会は来年の1月3日から兵庫県の各地で32チームで行われる。

◇準決勝(11月2日、東近江市布引グリーンスタジアム)35分ハーフ()は前半のスコアー
大阪桐蔭 0-0(0-0)大商学園

今年4度目となる大商学園ダービー戦は迫力のある試合内容となった。前半は大商学園がボールを保持して大阪桐蔭は押され気味だった。しかし、後半は大阪桐蔭が反撃に出たがシュートチャンスをものにできず70分では勝敗をつけることができずPK戦へと持ち込まれた。今年公式戦で4度目となるPK戦はまたもや掴むことができず4-5で敗れた。

◇3位決定戦(11月9日、布引グリーンスタジアム)

大阪桐蔭 3-1(1-1)京都精華

【得失点】15分失点、17分持田、64分永野、66分持田

今年インターハイ予選ではPK戦で負けて出場できなかった悔しさを胸に挑んだ今回の3位決定戦。相手はインターハイで準優勝した強豪校であり油断できない戦いとなった。京都精華はショートパスでボールポゼッションしながらバイタルエリアを攻略しようとする中、大阪桐蔭は高い位置からプレスにいかず自陣でしっかりブロックを形成しながら素早いカウンターを狙った。前半はカウンターを試みたがなかなかチャンスをつかめなかった。そして、守備のリスク管理ができないところをつかれて前半15分の早い時間に失点した。しかし、その後すぐに17分足立からのパスに飛び出した持田がGKと1対1を落ち着いて決め前半は1-1で折り返した。後半は相手の背後へとボールを配球するな

ど積極的なプレーが得点へと繋がり64分に永野ゴールが決まり逆転に成功、その後さらに66分に持田がゴールした。シュート本数も少ない中チャンスをつかみきれた試合となった。

関西高校リーグ

関西高校リーグ1部が11月16日に開幕した。今年から関西サッカー協会主催の公式戦となった。昨年はこの大会で全勝し優勝を果たしている。

◇第1戦目(11月16日、南津守グラウンド)35分ハーフ

大阪桐蔭 5-0(3-0)星翔

【得失点】1分大熊、7分上西、12分大熊、55分堀田、66分下間

試合開始早々に先制し早い時間で3点取り前半は大阪桐蔭のペースに試合が進んだ。後半、大阪桐蔭はパスミスが多く相手にシュートを打たせてしまうなど危ない場面もあったが、少ないチャンスで点を決めきり、5-0で勝利した。

◇第2戦(11月24日、宝ヶ池球技場)35分ハーフ

大阪桐蔭 0-2(0-1)日ノ本学園

【得失点】12分失点、69分失点

前半はお互い五分五分の中で早い時間帯の12分に失点してしまった。後半、大阪桐蔭はチャンスを作るも相手の粘り強いDFを破ることはできなかった。そして、終了間際69分に追加点を許して敗れた。

◇第3戦(11月30日、洛西浄化センター公園)35分ハーフ

大阪桐蔭 1-0(0-0)京都精華

【得失点】40分大嶋

この試合に負けると2部への降格が見えてくる試合となる。その相手は関西大会3位決定戦でも戦った京都精華との戦いだった。前半、大阪桐蔭は積極的に攻撃していたがなかなかチャンスを決めきることができず0-0で折り返し、後半も大阪桐蔭のペースの中でチャンスをつかめない中40分大嶋のゴールで先制点をとった。大阪桐蔭はその1点を守り切って1-0で勝ち切った。

全国壮行会&親子サッカー

11月23日に保護者主催による全国大会出場壮行会が本館の食堂で行われた。各学年の出し物や保護者の出し物などで盛り上がった。出場記念にジャージと移動用ミニバックも配られた。保護者の方に応援してもらい全国大会に向けて更なる意欲がかきたてられた。壮行会后、保護者と選手、家族が混ざって親子サッカー大会を行った。良い天気の中、珍プレー、好プレーがみられ笑いの絶えない時間だった。一緒にサッカーをし勝ち負けで喜んだり悔しがったり家族の絆を深められた。

全国大会抽選会

11月25日に日本サッカー協会JFAハウス(東京都)で全国大会の抽選会が行われた。出場するチームのキャプテンと監督が集まり、小島瑠璃子さん、川上直子さんが進行役となり直接キャプテンがくじを引いた。持田キャプテンが引いた大阪桐蔭の1回戦は、北信越第2代表の開志学園JSCと兵庫県淡路島五色台運動公園サブグラウンドで1月3日10時45分キックオフとなった。

今回からベスト4以外は1回戦で同地域が当たらないように配慮があるものの、フリー抽選となり強豪校チーム同士の好カードが実現した。特に注目のカードは常盤木学園(東北・宮城)対岡山作陽(中国・岡山)、神村学園(九州・鹿児島)対村田女子(関東・東京)は上位常連校の対戦となり好ゲームが期待される。なお、試合の様子はTBS系列で放送される。